

寒さに負けない 産山っ子



保育園初の持久走大会

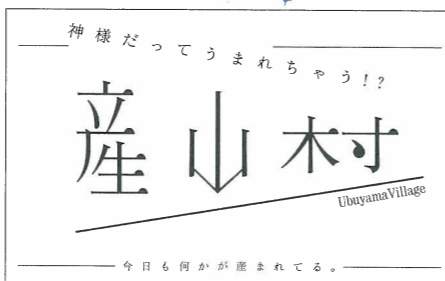
もくじ

- 2 うぶやま自慢
すくすくDiary
子牛セリ市場成績
人口の動き
- 3 【特集】認知度向上プロジェクト
- 5 村のわだい
- 6 暮らしの情報
- 8 議会だより
- 14 こんにちは、健康福祉課です
健康小話
- 15 人権啓発
- 16 夢創造
- 17 こんにちは！リチャードです
学校給食探検
本のへや
- 18 ほっと館
分駐所だより
Let's cooking!
- 19 社協だより
- 20 村民カレンダー
文芸のいずみ

今日も何かが生まれてる。

9月24日(土)、うぶやま牧場で認知度向上プロジェクトのイベントの一つとして、バイオリニストのツルノリヒロさんのコンサートが開催されました。ツルノリヒロさんは、世界でも活躍されている日本トップクラスのバイオリニストで、草原の中で聴く美しいバイオリンの音は、村内外から訪れた多くのお客さんを魅了しました。

同日、午後2時から村内初となるフリーマーケットが開催され、26店舗の出店がありました。おもちゃや古着、手作りのパンや野菜など様々な出店があり、お客さんも出店者も会場内を歩き来し、買物や交流を楽しんでいました。



神さまが生まれた(かもしれない)村として、神の恵みでいっぱい自然豊かなエネルギーに溢れた村という思いを込めたロゴマークが生まれました。



「産山村ぽーたる」はじまりました!

10月1日(土)、魅力溢れる産山村をもっともっと多くの人に伝えたい!という思いから村の魅力をグッと詰め込んだ他力本願のポータルサイト「産山村ぽーたる」が生まれました。

産山村誌によると、産山という地名の由来は、阿蘇を開いた健甞龍命(たていわたつのみこと)の御嫡孫生誕の地として、命(みこと)を山にたとえ、山が生まれた地「産山」と言われています。つまり産山は神様が生まれた(かもしれない)村ということになります。

そこで、神様が生まれたという伝説と現代の情報通信技術であるSNS(会員制交流サイト)を融合させた「他力本願」のポータルサイトを立ち上げました。この村の魅力を村民だけでなく、村に来てくれた人たちの力を借りて村の情報発信を行うという他力本願で知名度アップを図ります。まずは一度サイトにアクセスして、皆さんも村の魅力再発見にご協力下さい。

この事業は地方創生加速化交付金を活用しています。



産山村ぽーたる内の電子絵巻「産山村縁記」の一部



産山村ぽーたるのトップページ <http://ubuyamamura.com>

うぶやまのすてきな人をご紹介します!

うぶやま自慢

まつおか とみ こ
松岡 富子 さん



好きなことだから、続けることができた
これからは挑戦していきたい

松岡さんは、現在産山村のコミュニティバスの運転手。「車や運転することが好きだった。違う人生を歩んでいても運転手の仕事をしていたと思う」と運転に対して熱い思いを持っています。

以前、医療事務の資格を生かし、薬局などで働いていましたが、ある時、それが自分らしくない働き方だと気がつき、ずっと憧れていた大型トラックのドライバーになろうと決めました。「仕事終わりに自動車学校へ通う生活はき

つかったけど、好きだったから続けることができた」と好きなことに対する熱意で取り組んだそうです。

大型自動車免許を取得した後、運送会社などに飛び込みで求職活動をしたのですが、女性には無理だと決め付けられ断られることが多かったそうです。それでも諦めずに積極的な就職活動をし、念願のトラックドライバーになりました。

そして、コミュニティバスの運転手募集を知った松岡さんは村で働きたいと思い、村のコミュニティバスの運転手になりました。

「お客さんから感謝の言葉をいただくと、やってよかったと思う。皆さんの安全を第一に考え責任を持って運転を続けたい」と意気込みを語ります。運転が大好きだという松岡さんはまた他の自動車免許取得にも挑戦していきたいと語っています。



今日の表紙

10月14日(金)にうぶやま保育園で第1回目となる持久走大会が行われました。

3歳児(きく組)、4歳児(ゆり組)、5歳児(きく組)の園児が練習の成果を発揮し、各クラス3位まで表彰されました。

惜しくも入賞できなかった園児には記録証、欠席した園児には参考記録証が手渡されました。



あぐすくDiary



このコーナーでは1歳の誕生日を迎える「むらの宝」を紹介します。

☆西村愛太郎ちゃん (大悟さん・陽子さん長男)
あいたろう



11月18日生まれ

- 名前の由来
人を愛し、人に愛される、大きな男になるように。
- お父さんへのメッセージ
よく食べて、よく寝て、よく笑って、楽しく過ごしましょうね。
- みなさんへ一言!
西村愛太郎くん「はーい」(*´ω`)ノを覚ええました。たくさん声をかけてねー♡

お悔やみ申し上げます
井 孝子 様 (上山鹿西)
十月二十六日没
宮本 眞住 様 (大利日向)
十月三十日没
(平成28年10月31日提出)

赤ちゃんこんにちは
宮川 結楓ちゃん (家壁)
母 将一 様
父 珠希 様
高日星 太郎ちゃん (山鹿)
母 哲也 様
父 高日星 太郎ちゃん (山鹿)
母 ともこ 様
父 陽水ちゃん (片俣)
母 正弘 様
父 可奈子 様

熊本市子牛市場品別セリ成績表 熊本県畜産農協阿蘇支所統計による
○市場セリ日:平成28年10月5日(水)~7日(金)

品別	性別	頭数	平均価格	先月比	平均体重	Kg単価	平均日齢
褐毛	県市場	去勢	198	829,200	▲52,020	301	2,750
	平均	メス	141	750,179	▲8,413	286	2,625
	産山牛	去勢	5	832,032	▲67,968	311	2,484
	平均	メス	1	921,240	152,820	296	2,882
黒毛	県市場	去勢	464	859,985	▲25,048	299	2,874
	平均	メス	335	756,648	▲13,805	276	2,743
	産山牛	去勢	13	778,680	▲71,378	306	2,355
	平均	メス	14	793,106	2,546	271	2,713

■産山村人口の動き(10月31日現在)

男	821人
女	741人
合計	1,562人
世帯数	622戸
男 出生	2人
男 死亡	1人
男 転入	3人
男 転出	4人
女 出生	1人
女 死亡	2人
女 転入	2人
女 転出	5人



水俣に学ぶ肥後っ子教室

産山小学校5年生は環境と水俣病に関する学習の一環として毎年水俣市を訪れています。今回参加した児童の感想文を紹介します。

「水俣に学ぶ肥後っ子教室」で学んだこと

産山小5年 岩下 天音

まず初めに、熊本県環境センターへ行き、地球温暖化のことを聞きました。地球温暖化は進んでいて、地球はいろいろなことが起きているのがわかりました。原因は人が使っている石炭や石油やガソリンなどを燃やすと出る二酸化炭素です。また、人が使う電化製品からも二酸化炭素が出るそうです。でも、植物や木などの自然が少し減らしてくれるそうですが、それでもまだ、二酸化炭素は消えないのです。これからは、地球の資源や限りあるものは、地球全体のために大切にしていきたいです。

次に、語り部の前田さんの話を聞きました。前田さんは水俣病ですが、笑顔なので、すごいなと思いました。本当はいろいろいやなことがあったそうです。心に残ったことは、前田さんはリハビリなどをして、みんなと同じように仕事をしているので、すごいなと思いました。これからは、前田さんのように、いやなことがあっても、あきらめずに、笑顔でいたいと思いました。



災害には負けないぞ！笑顔でプレイボール！

～村ソフトボール「秋季大会」～

毎年恒例となっている村ソフトボール協会(西村直樹会長)主催の秋季大会が10月に開催され、村内各チームが参加し、熱い戦いが繰り広げられました。今年度は、4月に発生した熊本地震により多くの村民が被災したため、春の大会は中止となりましたが、秋季大会では各チームの選手たちが元気いっぱいプレーを披露しました。

今大会も好ゲームが連発する中、決勝戦は近年優勝候補の一角に名を連ねる産山チームとロッキーナイン(平川)による対戦となりましたが、10対8の接戦を制したロッキーナインが見事2年ぶりの優勝を飾りました。

また、今大会も(有)井商店の協賛でホームランを打った選手に「ホームラン賞!」が授与されました。



優勝したロッキーナインの選手たち

- ホームラン賞!
- 井山健一郎 (ロッキーナイン)
 - 埜口 幸郎 (ロッキーナイン)
 - 井 秀晴 (イーグルス)

10/6(木) くまもとふるさと食の名人に認定

ホテル熊本テルサ(熊本市)で、「くまもとふるさと食の名人認定証交付式」が行われました。熊本県は県内各地域で郷土の伝統料理に関する知識・経験・技術等を有し、伝承活動等に取り組んでいる方を「くまもとふるさと食の名人」として認定しています。今回、産山村から丸こんにゃく作りの名人である西林キヌ子さん(小迫)と井 紀和子さん(下田尻)がくまもとふるさと食の名人として認定されました。

お二人は、「産山こんにゃくクラブ」(渡辺裕文代表)のメンバーとして、本村で栽培したこんにゃく芋を使って定期的にこんにゃく作りに励み、地産地消の取組みにも貢献しています。今後は、丸こんにゃくを本村の伝統料理として村内外に発信することで、本村の食文化の発展に繋がることが期待されます。



9/24(土) 「ふるさと うぶやま」まで歌声響け!

～ふるさと うぶやま会～

熊本市において「ふるさと うぶやま会」が開催されました。この会は、ふるさと産山村が活気にあふれることを願う熊本市在住の村出身者の集いで、今年では会員30名程度の参加があり、村からは村議や各種団体長が参加し、親睦を深めました。

恒例となっている抽選会では、ブラウンスイスのヨーグルトなど産山村の特産品が参加者全員に当たり、参加者からは「これで産山村をPRします」との声がたくさん聞かれました。最後にみんなで産山中学校校歌とふるさとを合唱して産山村に想いを馳せる良い会になりました。

村人会では村の応援団となりPRして頂く会員を募集しています。熊本市近郊に在住のお知り合いをご紹介ください。



みんなで声を揃えて中学校校歌とふるさとを合唱



10/21(金) チャリティーゴルフの善意届く

10月10日に産山村チャリティーゴルフ大会が開催され、実行委員長の橋本工氏から「チャリティーゴルフに参加した人達の善意を教育に役立ててほしい」と保育園、小学校、中学校にそれぞれ3万円ずつの寄付金が贈呈されました。代表で寄付金を受け取った産山小学校の河津校長は「毎年このような寄付をいただきありがとうございます。長く残るものを買入します」と感謝の意を表しました。

保育園や学校への寄付は今回で13回目となり、これまで100万円を超える寄付金が贈られており、児童図書などの購入に活用されています。

産山チャリティーゴルフはやまなみゴルフ場で毎年秋に開催され、毎回200名を超える参加者がある大会で、今年の開会式では市原村長が来賓として挨拶に立ちました。



代表校長へ寄付金を贈呈する橋本実行委員長(右)=産山小学校校長

10/6(木) 地方自治を学ぶ

～小国町副町長による研修会スタート～

南小国町・小国町・産山村の役場職員を対象に桑名真也副町長による地方自治法等の講習会が行われました。桑名副町長は総務省出身で、今年4月から2年間の任期で小国町に赴任しています。

第1回となる講習会では、3町村から約100名の参加があり、産山村からは25名が出席しました。毎月1回の開催予定で、地方公務員に必要な基礎知識を習得することで職員の能力向上を図り、住民のニーズに対応する能力を身につけます。



飼犬の登録・狂犬病予防注射の実施について

村民の皆様もご存知のとおり、犬の所有者は狂犬病予防法において、生涯に一度の登録を行うとともに、狂犬病予防注射を毎年1回受けなければなりません。更に、熊本県動物愛護条例では、犬の放し飼いが禁止されています。また、首輪等に鑑札や注射済票の装着をお願い致します。

今年度狂犬病予防注射を受けられていない飼主の皆様におかれましては、是非この機会に受けられますようお願い致します。(今年度の集合注射はこれで最後になります)

手数料:新規登録の場合 6,000円(登録料+注射料)
登録済みの場合 3,000円(注射料のみ)

実施日：平成28年11月16日(水)	
時間	場所
9:00～9:30	田尻地区 田尻倉庫前(なでしこの里前)
9:40～10:10	産山地区 第1分団消防本部詰所前
10:20～10:50	山鹿地区 役場駐車場
11:00～11:30	南部地区 南部倉庫前(柄杓田)

ご不明な点等がありましたら、役場住民課までお問合せください。
《問合せ先》 役場住民課 ☎25-2212

熊本県立高等技術専門校販売実務科訓練生募集

熊本県立高等技術専門校販売実務科では、就職を目指す知的障がいのある方に対して職業訓練を行っており、平成29年度訓練生を募集しています。

訓練期間：平成29年4月から1年間

訓練対象者：軽度の知的障がいのある方で、就労意欲がありハローワークにおいて求職登録をしている方など

	受付期間	試験日	定員
第1回選考	12月12日(月)～1月13日(金)	1月23日(月)	10名
第2回選考	1月24日(火)～2月24日(金)	3月3日(金)	3名

また、12月7日(水)にオープンキャンパスを行います。
応募方法など詳しくは下記まで。

熊本県立高等技術専門校 検索 ☎096-378-0121

回復者と家族によるリレートーク、
歌の弾き語り
(コーディネーター)

家族訴訟弁護団 国宗直子弁護士
歌 宮里新一氏

日時：平成28年11月20日(日)

13時30分～16時40分

場所：熊本テルサテルサホール
県ホームページ掲載の 参加申込書を提出してください。

※当日参加も可能

熊本県 ハンセン病 2016 検索

■お問い合わせ先

熊本県健康づくり推進課
☎096-333-2210

発見!広がる未来 (第76回 科学展)

「なぜ?」「どうして?」自然のなぞ解きにせまる子どもたち。

県内の児童生徒及び教職員による科学研究所等の優秀作品を展示公開します。

歴史ある科学展へぜひお越しください。

○期 日

11月5日(土)～9日(水)

9時～17時

※9日は15時まで

○会 場

熊本市環境総合センター
熊本市東区画図町所島404-1

○入場料 無料

■お問い合わせ先

熊本県立教育センター
☎0968-44-6613

URL <http://www.higo.ed.jp/center>

熊本県 科学展 検索

「生物多様性 くまもとセミナー」を 受講しませんか!

生物多様性に関する学習や自然観察を通して、自然環境の保全について考える講座です。募集案内や申込書様式は、ホームページに掲載しています。

○開催日:11月26日、12月10日

○会 場:熊本県立大学、県林業研究指導所

○募集締切:11月23日

■問い合わせ先

熊本県自然保護課
☎096-333-2274

○提出先

〒862-8570 (住所記載不要)
熊本県自然保護課
自然環境講座係

特設人権相談所を 開設します

○日 時:12月9日(金)

10:00～15:00

○場 所:村基幹集落センター
和室

○相談内容:家事問題(相続、離婚、親子関係など)、金銭問題、登記
手続、いじめ、差別、心配ごとなど
秘密は厳守されます。

○担当者:人権擁護委員2名
(高橋頌慈委員、井山光則委員)

なお、人権擁護委員は特設人権相談日以外でも、自宅において相談を受け付けていますので、お気軽にご相談下さい。

熊本県ハンセン病問題啓発 フォーラム2016」開催!

○「教育現場の取組」

帯山西小学校、菊鹿中学校、熊本大学による発表

○「家族の問題」

《役場電話番号》

- 総務課 25-2211
- 企画振興課 25-2211
- 健康福祉課 25-2212
- 住民課 25-2212
- 経済建設課 25-2213
- 教育委員会 25-2214

合併処理浄化槽及び 家庭用生ごみ処理機の 補助について

○合併処理浄化槽

生活排水による公共用水域(水路や河川など)の水質汚濁の防止や公衆衛生の確保の観点から、合併処理浄化槽への転換に対して補助を行っています。くみ取便所や単独浄化槽の方は、合併処理浄化槽への転換をお願いします。

また、浄化槽を設置すると、「保守点検」「清掃」「定期検査」の3つの義務が発生します。産山村の水環境を守るため、浄化槽の適正な維持管理をお願いします。

今年度浄化槽を設置予定の方は、11月18日(金)までに役場住民課までご連絡ください。熊本地震により今年度家を建設される方は浄化槽を設置する必要がありますのでご連絡ください。

【補助額】

- 5人槽 356千円
- 6～7人槽 428千円
- 8～10人槽 620千円

○家庭用生ごみ処理機

村内の家庭から排出されるごみの減量化や堆肥としての資源化を図ることを目的に家庭用生ごみ処理機の補助を行っています。

【補助額】 上限2万円

<問い合わせ・申請先>役場住民課
☎25-2212





UBUYAMA
第83号

うぶやま 議会だより

発行 産山村議会 阿蘇郡産山村山鹿488-3
TEL 0967-25-2211 FAX 0967-25-2864
編集 産山村議会 広報特別委員会

平成28年9月(第7回)定例会

一般質問

○(株)うぶやまの決算報告について

白石 巖 議員

「広報うぶやま8月号」に記載された株式会社うぶやまの決算報告の中の円グラフ、「売上」の部分、「営業外」と表記されている部分の詳細説明を求めます。

村長

株式会社うぶやまの決算報告については、内容もわかりやすく説明をしようということでも挙げたところである。担当課長より説明させる。

企画振興課長

質問の「営業外」の内訳としてコインロッカー、マッサージ機、自販機、アンテナの商品運搬車補助、花の温泉館のスロープ他もろろで890万円程度上がっている。

白石 巖 議員

何項目か上がっているが営業外で一番大きな金額は村から支出している指定管理料ではないか。

企画振興課長

はい。すみません。雑収入だけ説明したが、指定管理料収入として村から3,300万円となっている。

白石 巖 議員

指定管理料の金額を売上として挙げてよいか、収入には間違いないが円グラフの「売上」表示で正しいか伺う。

企画振興課長

指摘のとおり円グラフの表示については配慮不足、内容不足があったかと思う。最終的にわかりやすくということでも売上掲載させていただいた。当然、営業外収入として別に挙げるべきであり説明不足であった。

白石 巖 議員

決算報告を読むと、内容が前期との売上比較してあるが大事なこととは利益比較ではないのか。順序から営業利益、経常利益、最後に当期純利益となるが純利益の金額を明記することによって株式会社うぶやまの経営状況がより詳しく村民が判ると思う。

企画振興課長

内容的には大きく一括して表示したとこだが、今後判りやすい内容に検討していきたい。

白石 巖 議員

7月臨時議会(株)うぶやまの決算報告は受けたが、その当時の内容で「広報うぶやま」の中身がかなり省略され簡素化されている。指定管理料、又大事な翌年度に繰り越す「繰越利益剰余金残高」も明記されていない。金額としては約マイナス5,840万円、資本金7,170万円に迫っており現状では厳しい状況にある。読む人には明確に伝える事が大事ではないか。

村長

内容を検討して十分理解していただけるような広報に掲載のあり方にしたいと考える。

白石 巖 議員

指定管理料について、管理者との間に交わっている契約書の内訳は何年ごとの更新か、又料金は定額制、スライド制なのか伺う。

企画振興課長

(株)うぶやまと協定書で締結

しており、初年度が平成17年4

月1日から5年おきの更新となっている。現在が27年に更新し平成32年3月31日迄となっている。スライド制で予算措置している。ただ平成22年度が3,156万円、23年度から26年度までが3,000万円、27年度が3,300万円、28年度が2,700万円となっている。

白石 巖 議員

今後、更新時にそのまま継続していくのか、村の支出として毎年約3,000万円その他にも各施設の修繕代、土地賃借料等、合計すると村の大きな負担となっている、どのような考えか。

村長

第3セクターの指定管理については契約が32年となっており、現在、会社との交渉の中で体制を再建に向けていこうと進めているが前に進まない状況である。

しかしながら村としては、第三者委員会、議会からの提言を受けた方向で進めていきたい。指定管理については今後検討が必要だと思っており、経営体のあり方については提言の元で進めていきたい。

白石 巖 議員

今期迄の経営状態が続けば危機的状況に陥る可能性が大きい、今後、村として本格的に改革、再建に向けて優先的に取り組むべきだ。

○防災行政無線について

白石 巖 議員

行政無線について伺う。夕方に放送される件で一度に放送されなく10分おき又20分置に流れるが一括で放送出来ないのか。

総務課長

この件は以前にも議論した事があるが、非常に難しい問題である。何通りもの放送を録音録画しなくてはならず、システム的に難しい所であるが、再度庁内で調整を検討したい。

白石 巖 議員

緊急時は当然例外として除かなければならないが、範囲内で検討し改善を望む。

○危機管理について

志賀 英昭 議員

危機管理については、村民の生命・身体・財産を守るのが一番大事ということ度々の質問となっているが、24年7月の北部九州豪雨災害への対応が十分でないという事で同年9月の一般質問で、災害マニュアルの見直しを提言した。見直しには単に対策本部の検討や区長からの聞き取りだけでなく、村民の意見をしっかりと汲み上げるようお願い、執行部から前向きな答弁をもらった。第一に見直しが十分に行われたのか、第二に見直しによるマニュアルで今回十分に対応できたのか、もし十分であればどのような点であったのか、第三に不十分な部分があるとしたら今後の見直しをどのようにやっていくのか、以上3点尋ねる。

見直しは、私が村長になってから水害を中心とした災害マニュアルの見直しを行ったところだが、その内容が十分でなかったことは確か反省している。今回の教訓を活かして今後いろいろな対応を取り組んでいきたい。それには地域防災を含めた組織体制の強化を考えている。

見直しは、私が村長になってから水害を中心とした災害マニュアルの見直しを行ったところだが、その内容が十分でなかったことは確か反省している。今回の教訓を活かして今後いろいろな対応を取り組んでいきたい。それには地域防災を含めた組織体制の強化を考えている。

総務課長

危機管理の中で災害対応マニュアルについては、25年度に他の市町村の例等を参考に見直している。見直したマニュアルに基づいて2年に1回の防災訓練もやってきた。今回地震が起き、マニュアル通りにいかないことを痛感した。実際災害に遭った場合、いろいろな要素が出て、それをいかに検証し、次の災害に役立てるマニュアルを作るのが大事である。住民の意見も非常に大事で、今後区長・消防団を通じて吸い上げていきたい。その中で今後再度マニュアルを見直したい。

村長

4月16日に震度5強、6強といった大きな地震があった。指定避難所のほか耐震の進んでいる小学校を避難所として開設し、消防団等に村民の安全・安否確認併せて災害被災状況等の把握も依頼し、避難所への人員配置および毛布等・災害備蓄品の配給

志賀 英昭 議員

地震対応が初めてだったとことだが、東南海トラフ大地震が起きる可能性が高く死者数も多大になるとの報道を受け産山も布田川断層の継続地形で地震の発生も有りうるとの前提で、22年6月に質問している。初めての対応ということでもなく、危機管理については常日頃から危機感を持つて接していなければならぬ。今回、「食事を済ませ寝具を持つて避難して下さい。」と放送がなされた。危機に対し、自助共助公助の役割があるが、産山村では自助の働きが大きく不満を言われる方が少ないかも知れない。しかし、あの放送は最初はともかく継続して流された。一家庭への共助などいろいろなあり方があると思う。マニュアルの見直しに対し区長を通じてのことだが、直接聞き取るという姿勢が必要と思うが。

総務課長

災害の基本は、自分の身は自分で守るといった自助である。しかしお年寄りや障害者といった自分を守るのに限界の方もおり、家族なり集落なりの互いに助け合う共助が生まれる。最後が、行政がお助けするという公助となる。本村は職員40数名で

公助にも限界がある。自助・共助をどうやって住民にやってもらうか課題であり、今回集会所で独自で避難所とした集落もあった。今後は、こういった自主防災組織を広げることが大事と思っている。こういった点を踏まえ、組織系統のある区長・消防団を通じて住民の意見を集約していきたい。行政が一人一人聞いて歩くことは少し不可能なので。

志賀 英昭 議員

現在のマニュアルには、基本的に公助の部分しかないという意味合いに聞こえたが、共助の部分も大事である。24年災の折も対策本部は炊き出しが行われたが、被災の牧野地区には届いていない。組長・区長を通じてだけでなく、別に意見を組み上げる場システムを設けてもらいたい。

今回村民が安心できる耐震建物は、産山小学校だけだった。避難場所とされた各地区公民館等に対し、耐震性が十分でないという不安を持った人が多く、車中泊となったのではないかと

思っている。各地区公民館の耐震性は十分と考え避難場所としたのか尋ねる。

村長

耐震基準は昭和56年に新しくなっており、それ以前に建てられた南部地区公民館と産山地区公民館は耐震性が十分かと言われれば調査が要ることになる。体育館等はライトが下がっているなどそこに避難ができない状況であった。車中泊された方には、天井がある所は無理など個々の不安には多様性があり、いろいろな方法を取られた経緯があると思う。しかし今後地区公民館等の公共施設の耐震化を図りながら、遠くに行かなくても避難できる状態の必要性を痛感した。お年寄りがある中で遠くの指定の避難所に行くことだけが避難所設定のあり方ではないと考える。電気と水道がある程度供給されたことで、自分の家で食料調達もできたということで、産山村が混乱しなかったこともある。そういったことも含めて検証しながら、新たな災害に対応できるように地域の方々と一緒にやっていく必要がある。

志賀 英昭 議員

56年基準に南部・産山公民館は対応していないが、他の公民館は大丈夫ということである。そういった情報を村民は知らないわけで、日頃からこれだけの耐震

性があるといった情報を出していることが大事だ。次に土砂災害防止法に基づく崖地移転事業等、防災減災対策に取り組んでいるはずだが、現在そして今後どのように進めていくのか。

総務課長

本村は中山間地にあり崖下の非常に危険な土地に住宅が多い。その中で安全な所に移転する崖地危険住宅移転事業があり、また熊本県が独自に作った土砂災害に関する移転事業が新設されている。住宅移転に補助金はあるが、個人の資金も要るので相談を受けながら随時担当課で対応しており、昨年度は二軒この事業で移転した。被災者以外の方にも今後こういった事業があることを啓発していきたい。

志賀 英昭 議員

公共の建物に耐震性基準に合致した対策を要望したが、個人住宅について尋ねる。産山村の場合、建築に際し建築基準法に基づく届出は不要であり、融資先から要求される場合を除き耐震性が要求されていないと思う。民間建物に対し、耐震性を上げていく事業はあるのか。

総務課長

基本的に指定管理は5年間という規定で、指定管理を受けた会社はいろいろと投資したりする。5年間は基本的に解除しないという約束事だ。

志賀 英昭 議員

隣接自治体では、指定管理を返上させた例も出ている。経営改善が見られない場合には、そのようなことも促すといったことも含め、いろいろな指導をしつかりとやって頂きたい。



○自然災害等の非常時の対応について

渡辺 裕文 議員

4月16日発生の熊本地震発生時、職員を緊急招集したと思うが状況はどうであったか？データでは村職員は最近では多いときで50人、少ない時で36人、現在43人、村外からの通勤者は17名、率にして39.5%。ちなみに近隣町村は5〜13.5%。緊急

経済建設課長

民間住宅・建築物の耐震化促進ということで国の住宅建築物安全ストック形成事業があるが、本村は取り組んでいない。耐震の診断では国が3分の1、村が3分の1の補助であり、耐震改修については国が11.5%、村が11.5%ということ、二戸建て住宅で上限82万2千円の補助がある。今回多くの住宅が被災を受けており、その多くは昭和56年以前に建てられた家に集中している。今後こういった事業の実施についても考えていきたい。

志賀 英昭 議員

調査に対しても村が3分の1の支出もあり村はまだ取り組んでいないということだが、検討してもらいたい。危機管理の最後として、役場職員の駆け付け体制について問う。村外通勤者の駆け付けの状況をなるべくなくしてもらいたいということ、24年3月質問した。その折村外からの通勤者が14名であった。その後昨年12月に質問した際には、16名と逆に増加している状況であった。村外通勤者数はどうなっているのか、単身者住宅といった住宅整備を含め、通勤中に災害に遭わず駆けつけられる体制をどう整えているのか。

総務課長

現在の村外通勤者は、17名である。いろいろな各事情があるが、共働きの配偶者との関係で中間地点に居住する傾向が多く、村外通勤者が減らない事情だ。単身者住宅夫婦で入れる片保住宅の建設で若干の効果は上げていると思う。ゴルフ場前の単身者住宅は、敷地確保もしており、今後の財政状況と勘案しながら建設計画を進めていきたい。

志賀 英昭 議員

17名と層増えている。しっかりと整備する中で解消してもらいたい。昨年の質問の折役場職員の報告連絡相談が欠けている点が多くあり、職員の資質向上を図ってもらいたい旨を述べた。その後資質向上に向けた対策をどのように採ってきたのか。

総務課長

職員研修、派遣による資質向上などいろいろな手法がある。県との人事交流も行っているが、来年度以降についても手を上げたと思う。職員研修も6月に行う予定であったが、地震の中で出てこない。いろいろな方法で職員の資質向上に取り組んでいきたい。

○第三セクターについて

志賀 英昭 議員

指定管理料の金額が花の温泉館の切り離しで2700万円に下げているとの説明であったが、温泉館の制度改善がなされていないのであれば、現在状況と答弁の不一致が生じるのではないか。2点目は年間約400万円の地代の免除である。現在の村の予算では、各地区・団体への支払のみで三セクからの歳入はない。そして第三セクターの収支決算の中にも出て来ず、第三セクターの赤字にカウントされない。こういった点も踏まえ、きつちりと報告いただきたい。

村長

第三セクターの広報の掲載の構成については先ほどの答弁の通りだが、通例に従った経緯もある。しかし現状を村民に解かしてもらおうにはいろいろと公にしながら進めていきたい。

志賀 英昭 議員

(株)うぶやまの経営状況の改善の責任については、本来取締役会にある。取締役会自らが改善策を出し実行してもらわなければならないはずであるが、そうい

時は、危険も伴うため、人員の確保が難しいのではないかと。また指定避難所には夜間は職員を2人づつ配置、災害対応、ライフラインの確保等で、職員は睡眠もままならず大変な状況だったと思う。消防団には、機別消防団員制度がある。緊急時に対応できるような人材確保の仕組みを作ったかどうか。

村長

職員の緊急時の対応が困難ではないかとの質問であるが、村外からの通勤者は阿蘇市管内が11名それ以外が6名。緊急時の理解ということを含めてやっているが、今後管理職等の統合等もある。その折には、ある程度の条件と採用時には特別枠で村内在住も検討できるのではと県と協議、知恵を借りているところである。今回、早い時間に多くの職員に来てもらったがトータル的に人数が少ないわけで、避難所の設置、ライフラインの確保等に多くの人数がいる。高齢者や体の不自由な方々、小さな子どもを抱えている家庭等いろいろな状況がある。自助、共助、公助というようにすることで、そういった組織を立ち上げることが必要だと感じている。災害が起きるという前提で

物事を運んでいかなければならぬ。

総務課長

16日1時半の地震で各課長役場に集まり、全職員に招集をかけたがその時点で立野は決壊してたと思う。大津・菊陽の職員は道を探して登庁したのでかなりの時間を要した経緯がある。職員の駆け付け状況は以上である。

渡辺 裕文 議員

阿蘇市からの通勤が11名で村外と言ってもそんなに遠くはないので駆け付けはできるのはわかかったが、緊急時の対応が役場の職員だけでは難しいのではないかと。避難所についても役場の職員が1人、民間から1人とか可能じゃないか。指定避難所以外にも避難した住民もいる。役場の職員だけに無理がかからないように、自分たちでもできることがあればほしいと思っている方々もいる。

次に復旧・復興だが、国・県の補助がつかない被災を負った住民が困っている。県も復興基金510億円を創設する。県と市町村が自由に使えるようであるがまだ何も決まっていない。国・県の流れを見ながら、村独自に上乘

村長

いろいろな災害がある中で、個人財産の修復等に村がどれだけ関与していくかが一番大事だと思っ

ている。中越地震以降、補償制度があるが条件が非常に難しい。復興基金510億円は国の12月の補正予算で成立すると思う。村が単独でやらなければならない、するならば単独になるという事業について、住民の早くやつてくれとの要望もある。復興基金のある程度めどが立てば早急にやっついていかなければならない。住環境を整備し安心して住める状況、生活できる状況を作り出していくのが行政の仕事であると思う。復興基金は小さな村であるが最低限これだけはしてほしいということを要望していきたい。

渡辺 裕文 議員

村、執行部と議会が一丸となって村民のために復興に汗をかかなければいけない。

○放課後児童クラブについて

西村 直樹 議員

放課後児童クラブについて質問する。共働きの世帯や祖父母のいない世帯など大変助かる施設だと思いが、当初利用をする児童が少ないのでは、収支の問題、両親の希望に沿った運営など心配する声があった。しかし話を聞くとかなりの利用者があり、大変助かっていると聞く。その中で施設が狭いのではないかと、児童同士がぶつかるなど聞いている。現在、何名が利用しているのか、先生や支援員は何名いるのか、利用料金はいくらになるのかを尋ねる。

村長

今年4月に小学校敷地内に放課後の健全育成事業として放課後児童クラブを開設した。放課後に児童を保護すべき家族が仕事等で児童の保育が出来ない家庭を支援し、適切な遊びや生活の場を与えて、健全育成を目的とする。保護者が安心して子育てと仕事等が両立を図るためより良い支援のあり方を考えている。教育長からも意見を述べさせる。

教育長
放課後児童クラブについては、2つの側面があり、一つは就労家族の子育て支援、もう一つは入所する子どもへの健全な育成である。クラブでは外遊びや室内での宿題、工作作り、夏休み期間中は水泳とか、うぶやま夢塾等の参加など、様々な活動プログラムを提供している。

教育委員会事務局長

現在19名の利用申請があり、新たに1名申請がきている。当初は5名であったが毎月増えていき、いわゆる地域に合った様になり、20名が利用している。施設整備の設置基準では、一人当たり面積1.63平米が基準である。定員30名の基準を満たしている。指導員1名、臨時任用しているスタッフ5名いる。ソフト制で通常2名から3名で支援をしている。毎月利用料は一人当たり5,000円で、長期休業日は7,000円を徴収している。

西村 直樹 議員

新規事業で、今後村外にも発信していきたい、少しでも人口が増えるよう頑張ってください。

○工事負担金・保険料・料等の徴収体制について

西澤 正 議員

工事負担金及び保険料等、公共料金の徴収体制について尋ねる。本年決算審査の折、工事負担金、保険料等の滞納が徐々に増加傾向にあり、高額滞納者が数名おられ、徴収が困難な方もいると予想される。その一方で、徴収方法の事務処理で、滞納とされているケースが見受けられる。現在、工事負担金及び各種税金等の徴収について、どのような手順で徴収を行い、歳入調停等行っているかについて伺う。

村長

工事負担金、保険料、村税等の徴収体制について税、負担金、使用料が年々増加傾向にあるというのは決算の状況でご承知のとおりだ。村政を運営する上で支障をきたすだけでなく、納税者の不公平感を招く、滞納者を減らしていくことに取り組んでいかなければならない。質問の内容については、総務課長に説明させる。

総務課長

徴収方法は、税の発生と同時に調定を起し、納入通知書を個人、納税組合に発送し、徴収

想が繋げるような教育を村長として考えるべきではないか。

村長

当然村に優秀な方、教育の中で子どもたちを優秀な人間に育てていくというのは、私たちの夢だ。そういった中で教育を改革しながら進めていきたい。

○敬老会式典について

西澤 正 議員

昨日の敬老会の式典で、表彰される方が立ち上がろうとしてよろめく場面があった。来賓、主催者側は椅子に座っていた。高齢者の方たちは莫座の上に座られていた。高齢者を敬うならば、椅子とテーブルにしなければならぬのではないかと、式典は約1時間かかる。各地区公民館に椅子とテーブルが配置してある。それを旧山鹿小学校体育館に一堂に集めることよって利用することが出来る。村長はどのように考えるか。

村長

私も西澤議員と同じ考えである。そのことについては、ぜひ検討したい。

している。工事負担金等は、工事完了したのち調定を起し、納入通知書を発送する。住宅使用料は、毎月の使用料調停で、何月何日に納入通知書を発送し徴収をおこなっている。保育料、学校給食費等も含めて、毎月分を徴収、納付書を発行している。

西澤 正 議員

納入をどのような形で歳入調停をやっているかということを探る。

通知は出したと言いが、ある施設では、納付書の通知が届いてなく、本年度の決算では滞納となっている。本人に通知が届いてなく支払っていない税金等も滞納になるか2点伺う。

総務課長

税、負担金、使用料、それぞれ納入した場合に、納付書のバーコードを電算処理機器が読み込み納入済みというのがわかり、各課それを見て収納を確認している。水道の件だが、事務のミスで、納入通知を二回出したが、戻って来て、その後の対応が未処理のまま滞納という形で処理している。現在滞納処理から訂正作業を行っている。

○指定管理について

西澤 正 議員

一般質問の中で指定管理の契約更新が5年に1度との話があった。昨年の議会でも、特別委員会を設置して、村として第3セクターの経営に関する協議を行い、10月に提言していたが、そのさなかに更新された事になる。それは企画課長、間違いはないか。

総務課長

更新日、確か4月1日付でやっている。

西澤 正 議員

特別委員会の開催決定決議があった中で行われている。自動的更新で5年ではなく2年更新または短年の期限でやっておけば、様々な問題がクリアできたと思う。5年で更新した以上は、平成32年3月31日までは村は一方的な契約解除はできないという総務課長の話であるが、会社が今の収支状況が続くならば倒産する可能性もある。そのことも含めて連携、施策し、村の企業として残すための最大限の知恵と努力、協力を考えるべきではないかが必要である。



西澤 正 議員

口座振替の場合、通帳残高の関係で、振替ができない場合、どのような対応をしているか伺う。

住民課長兼会計室長

口座の振替しができない場合は、金融機関から通知がある。次の納期にその通知書と一緒に納税者に配布している。

西澤 正 議員

聞いた話だが、口座振替が出来なく、その方が滞納として残っている。通知を出しているということだが通知が本人に届いていない。毎月入った分は、毎月電算でチェックしておれば、住宅使用料の滞納とか発生しないはずだ。

住民課長兼会計室長

銀行からその通知が来た段階で関係者に連絡をし、確認はしている。その通知が行き違いになっている可能性もあり、再度そのようなことがないように注意する。

西澤 正 議員

今の答弁は、会計監理者としての答弁か。税担当課の住民課長としての答弁か。

住民課長兼会計室長

税の徴収なので、住民課長としての答弁である。

西澤 正 議員

水道料金も同じような事務処理でやっているか。

経済建設課長

水道料金も同じ事務処理で口座振替えできなかった方にはお知らせを行っている。

西澤 正 議員

滞納の状況、収納状況を各関係課長が確認しているか。

経済建設課長

例月監査で収納状況が出ており確認している。

西澤 正 議員

収納状況の確認ができておれば、滞納されている方も大きな金額にならない。歳入調停を課長決裁、村長決裁までやっているか。実際に介護保険は、決算認定の関係で不認定となった。それについても歳入関係をチェックしておればわかる。また介護保険

西澤 正 議員

危機管理の件で本年採用試験受験者は、応募者が1名で村内の方はいなかったという話がある。村の試験を受けて、村に残って協力してくれというふうな発

次回の定例会は、日程が決まり次第
お知らせ端末にてお知らせ致します。
多くの方々の傍聴をお願いします。



I love me

I love me

坂田しのぶ

大自然の田舎育ち

子供の頃から

ずっと不思議に思っていました。

誰でも一度は考えた事もあるはずです。

「何故私はここに存在しているのだろうか」

ずっと曲がり道しながら

ずっと足りない物を探してきたのかもしれない。

でも、今回私は自分の身体を病気で壊し

何も出来なくなってしまう、

深い悲しみに落ち入りました。

「病気しても私は私」

「私は何者にもならなくてよくて、そのままの自分でいいのだ」と気付かされました。

そして、そのまんまの自分を愛してくれる人は、

たくさんいたのだと、

ただ一つ私が忘れていた事、

それは

「自分で自分を最大限に愛してあげる事」でした。

「病気した自分も愛する」

私の探し物は

私の中や側に常に溢れてて、

愛の気づきをもたらしてくれたのです。

私は不器用ですが、愛され人です。

(「I love me」前文)

坂田しのぶさんは産山で生まれ、産山で育ちました。結婚して松橋で幸せな日々を過ごしていたのですが、娘さんが3歳を迎えた頃、乳がんと診断されます。

「何故私はここに存在しているのだろう」—子供の頃からずっと不思議に思っていたことが今あらためて痛切なほどに脳裡を駆けめぐったに違いありません。

幼い娘さんのこと、愛する旦那さんのことを思えば思うほど、がんに冒された自分自身が、何も出来なくなってしまう自分自身が、歯がゆくて情けないものに思えて仕方なかったろうと思います。

そして「何故、私はここに存在しているのだろう。」と根源的な問いに行き着いてしまうのです。しのぶさんは深い悲しみに落ち入るのです。私は、何故生まれてきたのか、苦痛を味わうために?それとも・・・。

否、人は苦しむために、悲しみを味わうためにこの世に生まれてきたのではない。“私たちは嬉しい事、悲しい事を通して愛を経験しに、この地球に生を宿している”のだ。—それを気付かせてくれたのは、きっと旦那さんであり、娘さんであり、お父さん、お母さん、そしてお兄さん、弟さんであったはず。私を支えてくれた、そのまんまの自分を愛してくれた人たちです。そして、「自分で自分を最大限に愛してあげる事」に気付くのです。

しのぶさんは、がんと真っ向から向き合い、辛い抗がん治療を何度となく乗り越え、人の心を癒やすアロマセラピストやカラーセラピストとしての資格を取得して、それこそ明るくポジティブに生きる道を歩みます。いつも笑顔でまわりに気遣いながら。

今年5月16日、ちょうど熊本地震から1か月後、しのぶさんはご家族に見守られながら亡くなりました。享年40歳でした。心からご冥福をお祈りいたします。

坂田しのぶさんの遺作「I love me」は自分を愛することの大切さとともに、かけがえのない他者の存在に気付くことの大切さ、そしてそれは紛れもない愛そのものであることを教えてくれる「愛のメッセージ」に他なりません。多くの人に読んでもらいたい作品です。
(人権教育指導主事 笹原)



こんにちは、健康福祉課です
~you are what you eat!~

(今月号の担当：保健師 橋本)

熊本地震に伴う、特殊外来開設のお知らせ

地震の影響により交通が不便な状態で、専門医の受診が難しい中、阿蘇医療センターでは、熊本大学医学部附属病院等の協力を得て、特殊外来を開設されました。熊本市内まで、行かなくても阿蘇で専門的な外来受診ができます。電話予約のうえ、ご利用ください。

阿蘇医療センター「特殊外来の診療体制」

期間：平成28年8月～平成29年3月

診療科	診察日	受付時間	診療時間	診 察 医	
神経内科(神経難病)	第1木曜日	13時から15時30分	14時から16時	渡利 菜里	熊本大学医学部附属病院
小児科(小児の心のケア)	偶数月第4水曜日	9時から11時 13時から15時	10時から16時	上土井貴子	熊本大学医学部附属病院
小児科(特殊疾患)	奇数月第2木曜日 偶数月第2木曜日	8時30分から11時30分 13時から16時30分	9時から12時 14時から17時	鎌田 直美 岩井 正憲	熊本大学医学部附属病院
リウマチ膠原病内科	第3水曜日	8時30分から11時30分 13時から16時30分	9時から12時 14時から17時	中村 正	くまもと森都総合病院
乳腺内分泌外科	第3水曜日	13時から16時30分	14時から17時	岩瀬 弘敏	熊本大学医学部附属病院
糖尿病・代謝・内分泌内科	第2・4金曜日	8時30分から11時30分 13時から16時30分	9時から12時 14時から17時	小野 薫	熊本大学医学部附属病院
睡眠時無呼吸症候群外来	毎週月曜日	14時から16時	14時から16時	由布 哲夫	阿蘇医療センター

※休診・診療時間など予告なく変更となる場合もありますので、電話予約(☎34-0311)のうえご来院ください。

健康誌



産山村診療所

林田来介先生

「産山と私の関係」

十月、高校の同窓会で久しぶりに口之津へ帰りました。高校の時、少しの間陸上部に所属したことがあります。才能がなくすぐに辞めたのですが、みんなが誘ってくれました。震災の心配もしてくれてありがたく思いました。

今年、地震、台風、火山の噴火：と天災のオンパレードです。口之津に帰ってびっくりしたのは、海の水位が上がっていること。港の公園が大潮の時は海水にかかることがあるとのこと。昔きれいだった砂浜も、波が松林まで迫り小さくなっていました。地球規模で環境変化が進行しているようです。

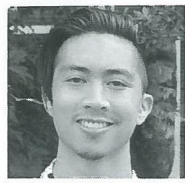
口之津は、自然環境の変化だけでなく、市町村合併が衰退に拍車をかけています。南島原市は、島原半島の海岸線

に沿って合併したために細長い市になっていて、口之津町は中心部から外れてしまいました。

子供の頃遊んだ野山や往診に回っていた高齢の患者さん宅など、あちこちに雑草が生えた荒地が目立ちます。生まれ育った町が衰退する姿を見るのは辛いものです。

最近、私が産山村に来たことに、運命的なものを感じています。産山には、自然の美しさや自然に溶け込んだ人々の生活があり、活力があります。産山の人たちとの交流の中に、昔懐かしい暖かさを感じます。そのことが産山に居たいと思う一番の理由です。

今、産山の良さを残しながら、若い世代に引き継いでいく作業が必要です。魅力ある産山が、いつまでも元気で続いて欲しいと願っています。



こんにちは! リチャードです。Richard Luu(リチャード ルー)

産山村はどんどん寒くなります。この天気はカリフォルニアの冬に似ています。今から寒くなるのが心配です。しかし私は一回だけしか雪をみたことがありませんから、日本の冬が楽しみです。こたつを使うつもりです。私はアメリカでこたつをよくテレビやアニメの中で見ました。多分、冬の産山はきれいな景色があると思います。たくさん写真を撮りたいです。

10月は色々なハロウィーンのことがありました。熊本市に行った時、店やレストランの中でハロウィーンのかざりを見ました。産山小学校前で Jack-o'-lanterns(※)を見て幸せな気分になりました。

最近福岡に行き、買い物をしました。福岡はとても広いし、慌ただしいと思います。また、車と建物がたくさんあります。しかし、樹木と芸術がたくさんあるから、福岡がとても面白いと思います。もう一度行くつもりです。美術館に行ったり、福岡城を訪ねたり、屋台で食べたりしたいです。 ※Jack-o'-Lanterns=かぼちゃをくり抜いて作った飾り。



11月の 図書室開放日

12日 12:00~16:00

26日 10:00~15:00

本友の集い 26日13:30~

初めての方も大歓迎! 本を囲んでおしゃべりしましょう

注目映画の原作コミックや小説、話題の新刊など揃っています。12日には隣室のメディアセンターで村民文化祭が開催されます。この機会にぜひ図書室にも立ち寄りください。それに伴い開館時間が変わっています。お間違えのないようよろしくお願いいたします。



レシピ No.30 ☆魚のレモン漬け

材料	分量	作り方(4人分)
白身魚(タラなど)	4切れ	①Aを鍋に入れ、煮立たせ、野菜を入れる。野菜に火を通す。 ②魚は、キッチンペーパーで余分な水分をふき取り、片栗粉を薄くつけて、油で揚げる。 ③揚げた魚に①のタレをかけてできあがり(*ハハ*) *パセリを最後に入れると、彩りがよくなります!(なくても大丈夫) このタレは、魚だけでなく、お肉との相性も良いです!揚げた鶏肉などにかけて食べてもおいしいですよ☆ぜひお試しください!
片栗粉	適量	
揚げ油		
酢	大さじ2	
うすくちしょうゆ	大さじ3	
砂糖	大さじ4	
レモン果汁	大さじ2	
玉ねぎ(薄切り)	70g	
にんじん(千切り)	30g	

このタレは、魚だけでなく、お肉との相性も良いです!揚げた鶏肉などにかけて食べてもおいしいですよ☆ レポーター/7年生 飯野 柊子 さん

学校給食探検

産山給食センター 栄養教諭 上月 直美



こんにちは! 10月、中学生は阿蘇郡市の駅伝大会があり、男女ともに敢闘賞をとることができ本当に感動しました。みんなの一生懸命走る姿をみて、私も頑張ろうと思いました!10月末にゆふいんマラソン大会に参加予定なので、しっかりチャレンジしていきます!



夢創造



小中一貫教育10周年を迎える

産山小中一貫教育が今年で10周年を迎え、10月15日(土)産山小中学校体育館で記念式典が開催されました。式典には小中学校の児童・生徒全員が参加し多くの村民の方々とともに10周年を祝いました。

式典の第1部は市原村長が「産山の教育改革のベクトルは確かに産山に根ざし、産山村民とともに歩む教育に向けられている。今後とも、『人が地域を創る』という揺るぎない信念を持って教育改革を後押ししていく所存です。」と力強く話されました。また、工藤教育長はこれまでの小中一貫教育の成果と今後の方向性について話され、義務教育学校への移行を示唆されました。

第2部では、熊本県警音楽隊による記念演奏会が開かれました。華やかなフラッグドリルや「365日の紙飛行機」「リトルマーメイド メドレー」の演奏、子どもたち全員で産山小学校歌を歌うなど、記念式典に華を添えてもらい、新たな門出にふさわしい式典となりました。



《熊本県警音楽隊の演奏》

産山村が全国初の 学校情報化先進地域に

10月14日佐賀市で開催された第42回全日本教育工学研究協議会(JAET)全国大会で産山村が他の4地域(新地町、つくば市、高森町、山江村)と共に、全国初となる「学校情報化先進地域」の認定を受け、開会式で表彰されました。

平成22年から小中一貫教育の授業の質の向上を目指して電子黒板などのICT機器を導入し、平成27年度までに一人一台のタブレット端末のICT環境が実現しました。また、平成26・27年度には県指定「ICTを活用した『未来の学校』創造プロジェクト」に参画し、全国から多くの先生方に来村いただき、2回の研究発表会を行いました。こうした成果を受けて、現地訪問審査を経て、認定されました。

今回の認定を受け、小さな村の小さな村だからこそできる教育改革をさらに推し進めていきます。



《学校情報化先進地域のロゴ》

産山中 中体連駅伝大会でダブル敢闘賞

10月19日(水)に阿蘇市あびか陸上競技場周回コースで、郡市中体連駅伝競走大会が開催されました。駅伝競走大会に向けて、男子は9年生を中心に10名、女子は9年生1名、7・8年生5名の6名で明るく元気に練習に励んでできました。

大会当日は男女とも1区の選手がハイペースのレース展開についていき、流れを呼び込みました。その結果、男子は7位という好成绩で18年ぶりの敢闘賞、女子は昨年を上回るタイムで9位となり、こちらも4年ぶりの敢闘賞を獲得しました。全校生徒で応援し、選手達もやりきった笑顔で素晴らしい大会となりました。



《1区を力走する大塚選手》



《ダブル敢闘賞で笑顔の産中生》

白寿会創立50周年 記念式典

10月22日(土)、田尻地区公民館において白寿会創立50周年記念式典が執り行われました。白寿会は昭和41年8月17日に発起人会での具体的な話し合いを経て結成され、当時の会員は94名に上り、本年で50年目の節目を迎えました。

式典では来賓として市原村長、荻老人クラブ連合会長はじめ多くの来賓の皆様及び会員約30名の方が集まり、記念品贈呈等が行われました。

式典終了後には大分県佐伯市を拠点に活動されている「県南落語組合」から豊後家歌八(ぶんごやうたはち)(本名:三浦芳行)さんにお越しいただき、『笑いはすべて』と題して落語会が行われ、参加された皆さんは有意義な一日を過ごされました。



民生委員児童委員活動 「温泉宅配」

10月3日(月)、村民生委員児童委員協議会の皆さんが「温泉宅配」を実施しました。



この活動は、村内の一人暮らし世帯を対象に日頃、温泉施設まで出かける機会の少ない方へ、自宅でゆっくり温泉を楽しんでいただくよう毎年協議会が実施している活動です。

今回は、2軒の世帯へ花の温泉館から温泉をお届けしました。皆さんからは「ゆっくり温泉に入れます」と喜んでいただきました。



社協だより

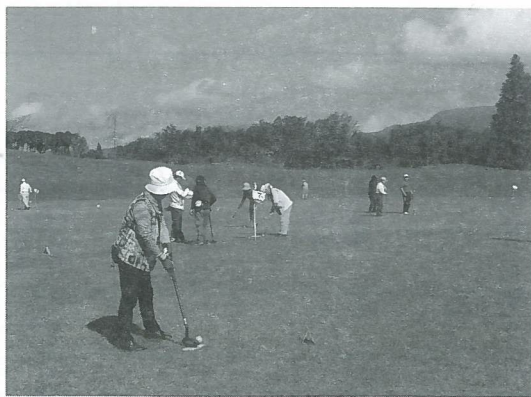
平成28年
第269号
発行者
産山村
社会福祉協議会
☎23-9300

平成28年度阿蘇郡身体障がい者グラウンドゴルフ交流大会

10月18日(火)、本村運動広場において平成28年度阿蘇郡身体障がい者グラウンドゴルフ大会が開催されました。本大会は各町村の身体障がい者の親睦と融和を図り、自己啓発及び社会参加の推進を目的に毎年開催されています。

当日は約60名の参加者のもと競技が行われ、日頃の練習の成果を発揮されていました。

また、各町村の選手は大会の空き時間等を使って楽しく話をされるなど交流を深められました。



ふれあいで、育てよう
ふくしの心



福祉サービス
センター 「ほっと館」です

産山村大利657-2
tel0967-25-2233 fax0967-25-2281

さつまいの収穫

ほっと館建物の裏には畑があり、今年はシシトウ、ナス、トマト、キュウリ、ニガウリ、さつまい、ニラなどの野菜を育てました。今回はさつまいの収穫を行いました。さつまいと聞いてみなさんどんなイメージがありますか。ご利用者に聞くと数名の方は「戦争中はさつまいをたくさん作られた。米がなかったから、芋ばかり食べさせられて・・・。」とされていました。



非常災害時の備え

ほっと館では非常災害時に備えて、約30人が3日間過ごせるよう、食料や飲料水等の備蓄をしています。デイサービス利用中に災害があっても、ご利用者がそのまま宿泊できるようにしています。

(備蓄品例) 主食アルファ化米:590食、飲料水:2Lを72本・500mlを48本

簡易トイレ、おむつ類、毛布、一般薬、救急セット・・・

分駐所だより

産山波野分駐所

人事異動

平成二十八年十月の人事異動により、二名の職員が、産山波野分駐所へ異動してまいりました。

消防3係	消防2係	消防1係
副分駐所長兼分隊長	副分駐所長兼分隊長	分駐所長兼分隊長
機関員	機関員	機関員
橋本 凌典	甲斐龍太郎	※本田 雅祐
新家 陽平	※小野 翔輝	※阿南 毅佳
下城 隆浩	パレライヴィ国雄	※穴井 雄二

※は新しく異動してきた職員です。

●異動した職員
中部消防署(阿蘇市) 井島 義昭
" 志賀 主麻

お問合せ・連絡先
阿蘇広域消防本部
0967-34-0024
産山波野分駐所
24-2766

火災予防の習慣

十一月九日から十五日までの七日間、秋季全国火災予防運動が実施されます。これからの季節は空気が乾燥し火災の発生しやすい気象状況となりますので、火の取り扱いには十分注意しましょう。また、外出時や就寝前には火の元を確認しましょう。

「消しましょう
その火その時
その場所で」



ほうれん草部会考案!
~ほうれん草を使ったレシピ~



○ほうれん草のクリームチーズ煮

(Lesson. 27)

材 料	分量
ほうれん草	300g
ハム	6枚
オリーブ油	大さじ2
牛乳	カップ1
★おろしにんにく	1片分
★固形スープの素	1個
★塩コショウ	少々
クリームチーズ	50g
水溶き片栗粉	適量

作 り 方
1. ほうれん草を4~5cmに切り、ゆでてざるに上げておく。
2. ハムは適当な大きさに切る。
3. オリーブ油を熱し、1を炒め、ハムを加える。
4. 3に牛乳を入れ★を加えて中火でひと煮立ちして、クリームチーズを入れる。
5. チーズがとけて来たら水溶き片栗粉でとろみをつける。



村民カレンダー

平成28年11月～平成28年12月

月日	曜	行事予定	ゴミ収集日	診療所	歯科診療所
11/7	月		可燃物	○	○
8	火	4ヶ月児健診 (9:00～一の宮保健センター)	ビンカン	○	
9	水	消防防火パレード(15:00～村内) 秋季全国火災予防運動(～15日)		○	
10	木	農業委員会(9:00～予定)		○	○
11	金		可燃物	○	
12	土	産山村文化祭(10:00～小・中学校メディアセンター) 図書室開放(12:00～16:00)			
13	日	合併をしなかった自治体の将来を考える シンポジウム(14:00～基幹集落センター)			
14	月	子どもヘルパー(15:00～)	可燃物	○	○
15	火			○	
16	水	特別講演会「熊本地震と阿蘇火山活動について」 (19:00～20:00山鹿地区公民館) 狂犬病予防注射		○	
17	木	学力向上推進地域指定研究発表会～ICTの 効果的な活用を通して(13:40～16:30小・中学校) 年末調整説明会(阿蘇市役所)	リサイクル	○	○
18	金		可燃物	○	
19	土				
20	日				
21	月		可燃物	○	○
22	火		ビンカン	○	

月日	曜	行事予定	ゴミ収集日	診療所	歯科診療所
23	水	勤労感謝の日			
24	木			○	○
25	金	いきいき健康塾「こころ」編 (13:30～基幹集落センター) 家庭教育学級(19:00～小・中学校メディアセンター)		可燃物	○
26	土	図書室開放(10:00～15:00) 本友の集い(13:30～)			
27	日				
28	月	もうすぐ1歳児健診(13:30～) 星空観察会(18:00～21:00 うぶやま天文台)		可燃物	○
29	火			○	
30	水			○	
12/1	木			不燃物	○
2	金			可燃物	○
3	土	保育園クリスマス発表会			
4	日				
5	月			可燃物	○
6	火			○	
7	水			○	
8	木			○	○

◎上記の行事は予定ですので、詳細については役場担当課までお尋ね下さい。

文芸のいすみ

短歌
 逝く秋の
 久住の峰に
 月待てば
 情在らなき
 雲の流る、
 御湯船 関野 侃作

百姓は
 雑草との戦いと
 田んぼの中で
 夫はつぶやく
 日向 西澤 美幸

主なく
 淋しくみのる
 柿の実も
 はかなき命
 計り知らねど
 山鹿 酒井 耐子

俳句
 初しぐれ
 ノラ(猫)軒下に
 うづくまる
 山鹿 佐藤ヨシ子